ふなで

［発行］　社会福祉法人　大阪福祉事業財団　「せんごくの里」　［発行責任者］　施設長　永田　美子
［住所］　〒597-0051　貝塚市王子1183-3　TEL（072）437-1075　FAX（072）437-1076
せんごくの里URL　http://www.sengoku-sato.com　白いくもURL　http://www.sengoku-sato.com/Cafe_01.html

謹賀新年

今年はこんな年にしたいなと、期待を込めて「これに挑戦しよう」と目標を新たに決める方も多いと思います。目標を意識し、継続してそこに向かっていく。そのポジティブな意識と姿勢が、生活に、また人生に活力を生み出すのだと思います。

さて平成30年は障害福祉サービス制度の3年毎の見直しの年度です。政府は、一体何処を目標に据えて見直そうとしているかと甚だ疑問に思います。国連総会で採択された「障害者権利条約」に、2007年、日本政府も署名をしています。また、世界に誇る「平和憲法」があります。

「憲法」「障害者権利条約」を生かし充実させる事が、当事者にとって有効な施策となり得るものと思います。これらの実現に向けて、私たち一人ひとりがすみずみから、間断なく、声を届けていく事が増々大切になっていくのではないでしょうか。

せんごくの里の事業を拠点に、地域の方々と手をつなぎ合い「平和と福祉ゆたかなまちづくり」の声を、ますます大きく発信していかなければと思います。今後もかわらぬご支援と、ご指導ご鞭撻の程を宜しくお願い申し上げます。

施設長　永田　美子

カフェ&ベーカリー 白いくも

「白いくも」も営業開始から8年目を迎えます。最初は数名の利用者さんと手探り状態で始まったカフェも、今では「自分たちの意見」を積極的に出し合ったりと「向上心」を持って取り組む利用者さんの姿もたくさん見られるようになっています。

今年、成人式を迎える2名の利用者さんも社会人として日々成長されています。

また、一昨年から取り組み始めた休日のイベント販売会への参加も職員と利用者さん1名が交代で参加しています。保護者の方々にもいつも助けていただき毎回楽しく参加することができています。そうして、少しずつの努力で**時給up**することができました。

やったー時給UP

最後になりましたが、本年も引き続き“白いくも”をどうぞよろしくお願いいたします。

スタッフ一同、明るい笑顔でお待ちしてます!!

野村　早代子

厨房ですよ

簡単♪「手作りタルタルソース」

【材料】
ゆで卵…2個
玉ねぎ…1／2個
※マヨネーズ…約大さじ5
※塩・こしょう…適宜

①みじん切りにした玉葱をレンジで加熱する
②細かくしたゆで卵と玉葱に※を混ぜ合わせたら出来上り

これからの季節、カキフライにもぴったり!お好みでヨーグルトを加えたり玉ねぎの代わりにピクルスを使うなど、いろいろアレンジしてみてください♪

山野　みちる

福祉情勢コラム

2018年度障害福祉サービス報酬改定が実施されます。3年ごとの見直しの時期に当たります。「障害福祉サービス等報酬改定検討チーム」が5月31日に第1回を行い、12月7日まで16回にわたり検討されてきました。

第15回（11・27）の検討会の中で、「食事提供体制加算」の経過措置を延長しない方針が示されました。この加算は、低所得者の食費負担を軽減するために障害者自立支援法施行時に設けられたものです。

加算が廃止されることによって、せんごくの里でも年間300万円弱の収入の削減になります。利用者に食費分の全額負担を強いるのか、もしくは施設で負担するのか。いずれにしても大きな影響があります。

加算廃止の方針に対し、全国の関係団体・事業所は厚生労働委員会の議員に対し、廃止反対の緊急FAX要請行動を行いました。衆議院厚生労働委員会（12・1）で、野党議員を中心に慎重な対応を求める意見が出されました。

12月14日には、厚労省が加算を継続する方針を固めた、との報道もありました。私たちの動きが「廃止方針にストップ!」をかけた訳ですが、まだまだ油断はできません。来年2月に予定されている報酬改定まで、これからも働きかけを続けていかなければなりません。

副施設長　寺田恒

福祉のひろば

福祉の専門月刊誌!!
毎月500円＋消費税
担当　大塚・川瀬

相談窓口

福祉全般の疑問や質問をお気軽に相談してください
担当　永田

ボランティア募集

お手伝いをしてくださる方募集しています。
担当　寺田

後援会会員募集中

大阪福祉事業財団の応援団になっていただける会員の方々を募集しています。
担当　山野・永松

第6回 貝塚ひびきあいまつり

当日は12月下旬の寒さに加え、途中はあられが降るなどこれまでにない厳しい天候の中での開催となりましたが、多くの方々に来場していただけました。

舞台ではフラダンスやよさこいソーラン、地域の学校の吹奏楽、バンドやダンスと多彩な内容で行われ、こすもすの里とせんごくの里の利用者のよさこいや歌の発表もありました。そして今年も貝塚市のイメージキャラクター「つげさん」も来て、会場を盛り上げてくれました。

模擬店では今年初登場のキャベツ焼きや手作り肉まん「千極(せんごく)まん」、例年好評の「おでん」や「たこ焼き」に「焼きそば」、「焼き立てピザ」もあり、どのお店も人気でお昼過ぎには完売御礼となりました。

今回も地域の皆さんの協力を得て無事に終えることが出来ました。これからも地域との繋がりを大切に、福祉まつりに取り組みたいと思います。

ひびきあいまつり事務局長　成岡　史紹

クリスマス会

貝塚市の「障がい者作品展」に出展

NEWS

冬の半日外出

カラオケ
お風呂
公園
ボウリング
喫茶

音楽療法 VOL.16

～新たな変化～

一年半程前から参加されているAさんのお話しです。初めて参加した日は、あるアニメの曲以外は両耳を押さえながら隣の職員さんの膝に顔を埋めていて、強い緊張が伺えました。二～三ヶ月経った頃、セッションの途中から隣の部屋に移動して、聴こえてくる音楽に合わせて自由にリズムを刻んでいました。職員さんと相談して当分は様子を見ることにしました。

ある日、ぬいぐるみを抱いてセッションの部屋に入ってきました。ミュージック・ケアは安心できるものとの参加を歓迎します。Aさんはどうされるかな?と期待しつつ見守りました。彼はぬいぐるみに動作やリズムを伝えるかのような仕草で楽しんでいました。自分の体を動かすのではなく、ぬいぐるみに置き換えて表現していたのです。この変化に気付いた職員さんの嬉しそうな顔がとても印象的でした。

以前は苦手な楽曲になると、楽曲とは関係のない歌を大きな声で歌っていたAさんですが、最近は大声で歌うことは殆どありません。自己調整の力が伸びつつあると感じています。

Aさんの隣にぬいぐるみ専用の椅子を用意して、ぬいぐるみもメンバーの一人として座れるようになると、Aさんに新たな変化が期待できるかもしれませんね。

日本ミュージック・ケア
協会認定指導者
浦川暁美